

# アカデミック・ディテリング・データベースの重要性 ～医薬品特性から見た安全性・有効性予測～

2015年9月5日(土)

東京理科大学神楽坂校舎1号館17階記念講堂(参加費無料)

司会進行 嶋田修治(アカデミック・ディテリング・データベース部門委員)  
14:00

挨拶 アカデミック・ディテリング・データベース部門長 小茂田 昌代  
<基調講演>

14:05~14:45

1. ゲノムバイオマーカーによる市販後安全対策への応用(仮題)

日本医薬品食品衛生研究所 客員研究員  
鹿庭 なほ子 先生

14:45~15:25

2. オーストラリアのアカデミック・ディテリング視察報告(仮題)

松山大学薬学部  
松岡 一郎 先生

15:25~16:05

3. 化学の臨床活用-アロクロスの活用例-(仮題)

立命館大学薬学部  
角本 幹夫 先生

16:05~16:20 休憩

<共同研究企業紹介>

16:20~16:35 株式会社 ユニケソフトウェアリサーチ  
(株式会社メディカルデータベース)

取締役社長  
亀田 裕文 様

<部門報告>

16:35~16:45

製剤情報のデータベース化(仮題)

部門委員 河野 弥生

16:45~16:55

CYP 酵素情報の相互作用介入への活用

部門長 小茂田 昌代

<総合討論>

16:55~17:15 挨拶 薬学科主任 花輪 剛久

問い合わせ先:

東京理科大学薬学部 小茂田研究室

komo1207@rs.noda.tus.ac.jp



東京理科大学 神楽坂校舎